

日本指圧専門学校同窓会



会報

第 33 号

発行年月日 平成24年5月1日
発行人 会長 川原善次郎
編集者 黒沢 純一
金子 智久
廣瀬 直子

日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-15-6
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞史郎
<http://www.shiatsu-obog.com/>

同窓会会長になりひと言

日本指圧専門学校同窓会 会長

川原 善次郎



昨年3月11日の東北地方の巨大地震をテレビの映像で見て胸が締め付けられる思いをしたのは、全国の誰もが同じ思いだったでしょう。

あれから1年、早いものです。同窓生の中に何らかの被害にあわれた方も有ろうと思います。心からお見舞い申し上げます。皆様方それぞれ、肉体的に、金銭的に御支援をされておられる事と思いません。まだまだ復興までには何年か

かるか分かりませんが、皆さんの変わらぬ気持ちで支援を続けましょう。

さて、私、8代目の同窓会長と云う事ですが、この大役が私に務まるか大いに心配も有ります。しかし、1年務めました。すでに前青木会長の時から始めました卒業生、同窓会員との指圧研修会で指圧の素晴らしさと指圧の面白さを感動出来る事はとても素晴らしい事だと感じて居ります。8月の学校が夏休みの時期と地方でと、2回を計画して、今年も地方研修を東京から余り遠くない所で開催したいと考えて居ります。多くの近年卒業者等に参加を期待しております。学校の教員の先生方にも

全面的なお世話になっております。近年は総会の参加者も減りつつ有りますが、2年前から新入生の歓迎会も兼ねた総会にしておりますので、新入生を励まし新同窓会者も励ませる総会にしたいので、各期運営委員の御努力をお願い申し上げます。



日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太(49期)

平成23年度

通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の平成23年度通常総会が、平成23年6月12日(日)茗荷谷の茗溪会館にて開催されました。

出席者は在校生も含め約80名、定刻10時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

岩本健一先生の司会のもと、君が代斉唱、青木宏会長の挨拶と続き、石塚寛名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は、①平成22年度事業報告及び決算報告、監査報告、②役員改選、③平成23年度事業計画案及び予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により承認されました。

その後の記念講演では、

「高齢者医療と指圧師の役割」と題して、昭和マネージメント(株)代表取締役社長、二松学舎大学客員教授である松岡一夫先生による講話が行われました。なかにはビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらっしゃいました。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中進められました。日本指圧専門学校理事長である同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、新同窓会会長に就任される川原善次郎先生の新会長挨拶と続き、乾杯の挨拶の後、新運営委員の紹介が行われ、ご挨拶を頂きました。続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたこともあり、思い出話や業界の事、仕事の



事など話に花を咲かせていました。新旧会員の交流が盛んに出来た事と思います。

最後に、校歌を全員で斉唱し、鈴木林三副会長による詩吟、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

*本総会の記念講演「高齢者医療と指圧師の役割」の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧いただけます。

URL : <http://www.shiatsu-obog.com/>



平成23年度 指圧実技講習会

同窓会の中心行事となりまして指圧実技講習会が本年度も実施されました。

第16回目として8月には日本指圧専門学校にて98名の参加を頂き盛大に開催されました。第17回目は11月に新会長のお

藤元である伊豆で行われ、奉仕指圧は現地の方に大変好評でありました。

来年度も全国津々浦々に広がる同窓生のご協力の下で講習会を開催したいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

第16回 指圧実技講習会 (学校)

第1部 「第一講座を受講して」

54期 荒井千明

2011年8月7日、日本指圧専門学校同窓会主催の23年度第1回実技研修会が行われました。午前中の第一講座は同窓会会長である川原善次郎先生の「腹部指圧」でした。本校5階の実技室にはたくさん卒業生が集まり、その熱気に在校生である私はちよっぴり気魄されつつも期待が膨らみました。初めに先生が指圧師の心構えとしておっしゃったことは「自信を持って指圧すること」でした。そのためには卒業研修が重要だという言葉には深く頷きました。

次に「健康はお腹から」でした。お腹でトラブルを起こしやすいのは大腸の曲がっている所(例、横行結腸から下行結腸)やS状結腸だそうです。例えば便秘の治療にはまずS状結腸を指圧し、次に臍まわりを点数を増やすなどして丁寧に行うそうです。触れてみて硬いところや脈が強く打っているところは調子が悪いというサインで身体が自ら治そうとしている証拠です。そういうところは持続圧を行うとおっしゃっていました。また、できれば肌に直接触れて指圧した方が良いということでした。



その方が体温、硬さ、筋肉の調子などがダイレクトに伝わってきて、指圧の結果も全然違ってくるようです。学生の私がいきなり人様に実践するのはハードルが高すぎますが、自己指圧でTシャツの上からと直の指圧を比べてみるのも面白いかなと思えました。卒業後、現場でおいでできるようになればと思います。学校で習う腹部の基本指圧は中央寄りが多いですが、川原先生の治療は腹部の隅々まで行うそうです。具体的には肋骨の際、上前腸骨棘の際、恥骨結合の際など骨の際まで押すのが肝要とのことでした。また、内臓が下垂している人は下半身の循環が悪くなっているので鼠径部を重点的に、特に鼠径部3点目の脈が強い人は持続圧を行うことや、冷え性の人は腹大動脈(小腸部

8点のうちの4点目)を持続圧すること、腹部の治療の後は背中を指圧するなど具体的な指圧ポイントを教えていただきました。

それから脾臓については面白いことを聞きました。脾臓はお腹をコントロールしている臓器だそうです。指が届きにくいので脇腹を持ち上げるようにして指圧するのが良いようです。具合が悪いときは指圧もいいのですが、川原先生はなんと氷で冷やすとおっしゃっていました。



第2部 「基本指圧」

51期 松村哲也

平成23年8月7日、第2講座鈴木林三先生による「医業の為の基本指圧」を受講しました。まずはじめに、私が鈴木先生の講座を受講しようと決めた事から書かせて頂きます。

私は学校を卒業して以来、指圧業に就かず理由あって実家の食鳥肉卸小売業を手伝っておりま。仕事は主に配達・鶏肉の解体、加工をしております。朝6時から夜8時過ぎ迄働いて、手伝いというよりは本業の様です。

手伝い始めた頃は、家の仕事を早く終わらせて、出張指圧を始めようと考えておりました。

お風呂上がりには脾臓近くを氷で直に6〜7分あてるそうです。お腹は冷やすな、が常識でしたのでこれには驚きました。冷やして良いのは脾臓だけなのだそうです。冬でなくても行うのはちよっぴと勇気が必要だなと思えました。指圧の奥深さを改めて感じさせる講義でした。腹部は自己指圧でも押しやすい場所なのでこれからちよこちよこ押ししていこうと思います。

しかし、不器用な私が二足の草鞋で出来るわけもなく、仕事の合間には、家族(特に父)を指圧しております。父は、30年近く糖尿病を患い、糖尿病の三大合併症の二つ(神経障害・網膜症)を患っています。現在は入院中で、見舞いに行く度、指圧をしております。少しでも治療に役立てる事が出来ればと考えておりますが、指圧の基本である垂直圧を押しているのか? 自信がないのです。父に圧の具合を聞いても、「気持ち良い」とだけ言ってくれます。自分が本当に垂直圧で押せているのか分かりません。

私は、在学中に基本指圧を学びましたが気持ちばかり焦り、症状に合った指圧施術を学びたい!!と基本指圧よりも応用された指圧技術に関心がいき、基本指圧を怠っていたのでは...と思います。基本を修得出来ずして応用など出来る筈もなく、本末転倒でした。

もう一度初心に戻り、基本指圧を学びたい!!その思いから、鈴木先生の講座を受けさせて頂きました。会場は学校の5階実技室。私は残念な事に仕事の都合で遅刻してしまい、実技室の扉を開けると、後輩から大先輩の治療師が一堂に集い、真剣に基本指圧に取り組む姿勢を目のあたりにして、自分自身も奮い立つ様な気持ちになりました。

皆一同、鈴木先生の実技を見逃すまいと食い入る様に見ていました。私は、伏臥位の肩甲骨下部を指圧している所から見る事ができ、先生の指先に注目していた私は、先生から「腰の動きを見て」と言われ、その動きを見てみると、先生の言う通り、腰はぶれずに素直に動き、それにつられて指が一定の方向へ無理なく沈んでいく、正に力が抜けて圧せるとは、この事だと思いました。

その後、講習会に来ていた皆でペアを組み、実技指導を先生にして頂きました。私と組んで頂いた方は、38期の岩下先生で



す。岩下先生は私の住む隣街で指圧院を営まれ、定期的に指圧講習会へ行き、指圧技術の向上に努められています。岩下先生の指圧を受けた際、私は気持ち良すぎて何度も眠くなるところでした。交代で私が岩下先生に指圧するのが却って自分の未熟さを感じ、恥ずかしく思えました。岩下先生は黙って私の指圧を受けてくれました。鈴木先生が見に来られて、「圧する指が逆だ!」と指摘され、私は顔から火が出そうなほど恥ずかしくなりました。指圧の基本である重ね母指圧は出来ているつもりでいて、そのまま基本を忘れ、我流の指圧になっていたのだと分かりました。

そして鈴木先生から、背中の姿勢と足を置く位置を指導して頂き、指圧してみると受けている岩下先生から(指導前よりも)良くなったと言って頂きました。指圧をしている私自身も、

第17回 指圧実技講習会 (静岡)



『肩関節の診方と調整法』に参加して

51期 廣田 哲也

こんにちは、51期生の廣田です。

今回、伊豆長岡で行われた研修会に参加させて頂いた頂きました。仕事の都合で2日間の研修のうち、11月6日(日)の、金子泰隆先生の『肩関節の診方と調整法』についての講義のみの参加となりましたが、その事について書かせていただきます。

テーマとなったのは、左右の肩甲骨の動きを見た上で、棘下筋・前鋸筋・肩甲骨下筋の3つの筋に、どのようにアプローチをするかというものでした。狙い方についてはおおまかに、『棘

して頂いた同窓会・協力者・先生方の皆様にはお礼を申し上げます。有難うございました。私は、直ぐに指圧師として働く事は出来ませんが、その間も指圧訓練を続け、資格だけの指圧師では無く、圧せる指圧師として活動出来る日を目標に頑張ります。これからもご指導をよろしくお願い致します。

下筋は肩甲骨棘と肩甲骨下角を結んだ真ん中、おそらく天宗の辺りと思われる、『前鋸筋は肩甲骨外側の下方から斜め上に向かって入れる』、『肩甲骨下筋は腋窩より入れて、引っかかるところでそこから下に圧を入れる』などです。

この中で特に自分が興味を持ったのは、前鋸筋についての講義です。金子先生が、『前鋸筋は肩甲骨内側についている菱形筋の拮抗筋』という話をされたのですが、いままで気づかなかった視点だっただけに、この事に気づけただけでも今回の研

修に出てよかったと思います。理由は、肩甲骨内側は、自分が圧されて気持ちいいし、やって欲しいと思うところではあるのですが、そこばかりを圧されると後で違和感が残ったりとやり過ぎてあまりいい感じがないところなので、肩甲骨内側以外の所を圧すことで、そこに効果が出せるというのはとても参考になりました。

また研修後、実際に治療院で前鋸筋に対する施術を試して気づいたのですが、前鋸筋の張りをとっていくと、その過程で肩甲骨外側の大・小円筋などの張りも、かなりほぐれやすくなるのを感じました。自分は肩甲骨を捉えるとき、この肩甲骨外側の大・小円筋をわりとフォークスして施術するのですが、直接狙うと痛みを伴うことが多く、なかなか張りもとどろづらかったりしたので、受け手の負担を減らす上でもいいポイントです。



他にテーマとは別に、上半身を診るときには『斜角筋隙の腕神経叢を緩めるのが大事』など、

研修の途中で話されたことなども、今後施術に取り入れていければと思います。



「同窓会伊豆研修会に参加して」

52期 岸本 稲子

十一月六日七日、静岡県伊豆長岡を会場に地方研修会が開催された。

鈴木林三先生、金子泰隆先生という豪華な講師陣でスタートされた。他にも実にそうそうたる顔触れの先生方、大変恵まれた環境だった。この環境での講義を受けられる事は、ラッキーだったと思う。

卒業後、中々お会いする機会も少なくなった恩師である担任の先生方と共に講義を受けられる事も実に嬉しかった。

一日目の金子先生の講義も解



剖学の記憶を呼び戻すに、実に有難い施術に基づいた講義内容であった。先生に左肩鎖関節を

圧していただいた。学生時代に圧していただいた時と同じ暖かさを感じた。肩周りが楽になっていく。素晴らしい。知識と経験の広さ、真に職人わざとはこの事を言うのであろう。

二日目は指圧の大御所第一人者ある鈴木先生。学生時代から聞いていた「指作りスクワット肩甲下部、これが出来ればいつでも圧せる」ニコニコしながら左人指し指を立てる姿、こちらもついニコリする。

学生時代この言葉の深さが理解出来なかった。指圧が出来ると作りを基本から始めて八ヶ月「指作りスクワット肩甲下部」この理解という扉の錠を明けようとしている。

今はまだ指圧が出来ていない。八年前、膝腰をダメにし、完全に体調を崩して医者回りが日課に成ってしまった。そんな時この指圧に出会った。今は風邪も引かない健康体。人生が明るく



奉仕指圧伊豆長岡研修会にて

50期 岩本 健一

前向きに変わった。この指圧がしたい、一人でも多くの人に伝えたくて基本の練習を師匠のもとで始めた。
基本を土台として、一つでも多くの引き出しを作る為に研修に参加してみたいかががでしようか。指圧師としてのスタートはこれからではないでしょうか。先生方これからは宜しくお願致します。頑張ります。

さて伊豆長岡ならば、反射炉を見てから会場の宿に行こうと、早めに横浜を立ちました。伊豆長岡駅から国道に出ると「反射炉400m先左」と書いてあります。お、近い。しかしそこには、また看板。「反射炉へ1.4km」あ、案内板まで400m

だったのです。見学を終えて駅に戻ると、ちょうど同窓会役員の方々が、懐かしい指圧学校の先生方が到着されました。久しぶりの挨拶を交わして、わいわい、がやがや、あーだこーだと、話が弾みます。

2日目、10月7日月曜日の午後からは、奉仕指圧の時間です。今夜、ここに投宿される方々のうち、指圧を希望する方に施術させていただくのです。施術者

10名、1時30分から3時頃まで予定どおり実施しました。

畳敷の大広間に布団を敷き、一人約30分程度と計画していました。しかし、たちまち30分を過ぎてしまいます。「指圧は聞いていたけれど、受けるのは初めてでねえ」「えっ、浪越先生のあれかい。へえー」「あ、そっ、そこです！」会話が弾んでしまふのです。他の先生方も同様だったようです。なんとか26名もの方々に、指圧を味わっていただいたのでした。

月曜日でしたが、親戚の3年ぶりの集まりとか、発声不自由な方々の集まりなど、いくつかのグループの来訪があり、非常に穏やかで、和やかな空気でした。



宿の支配人の事前集客と当日案内もスムーズでした。希望者が順番に入場できるよう進めていただいたのでした。

鈴木林三先生の「医業の為の基本指圧」と、金子泰隆先生の「肩関節の診方と調整」の講義を受けた後であり、私にとっては頭と体を連動させる、心地よい高揚した気持ちが継続した時間でありました。

企画された同窓会役員の方々、ならびに実施に当たられた先生方に心から感謝いたします。



指圧の心、母ごころ

3期 稲場 哲夫



指圧においても人・入字形両手母指での垂直圧が一番姿勢が安定して良くきくのである。

母指圧操作は指圧の主体であって、片手母指圧、両母指の外側の先端をそろえて行うハの字形両手母指圧と重ね母指圧とがある。前頸部は必ず片手母指圧で行う。また幼児の場合、全体に片手母指圧を用いる場合がある。通常、ハの字形の両手母指圧を行うが、集中圧の場合に重ね母指圧を行う。ハの字形両手母指圧は、左右5分・5分の圧でおすと皮膚を挟むことがあるので人とか入字形が良い。人、入という字の角度は45度の斜線で、一番安定感のある水平、垂直に次いで、見る人に安心感を与える、45度をあらわしているのである。

上・中・下とおす場合に、

中は人・入字形の45度垂直圧がいいのだが、上部をおす場合に人・入字の角度を鋭角（母指をタテ目にそろえる）この指の構えをかまきり型、また人・入字の角度を鈍角（母指を横にそろえる）指の構えをがま型とし、指圧のおし方として、かまきりおし、がまおしとする。かまきりおしでは肘を脇腹に近づける、がまおしでは肘を脇腹から遠ざける肘をはったおし方である。（上…かまきり 中…45度 下…がま）

指圧は母指（主として母指腹）を多く用い、他の四指は補助的に応用操作する。

母指を軽く自由にコントロールするコツは、おすときに小指にこころもち重心をかけ小指の指腹に体を密着させ、体から放さないことである。そうすると手首の動きがらくに動き母指の中指指節関節が出しやすくなる。甘手も苦手も母指の中指指節関節を出しておすことが一番大事である。中指指節関節を出すことにより、肘のゆるめとつながり、肘の引き締めにより手ぬぐいを絞るごとくとか、患部のコリに對しても、もつれる糸をほぐすごとくとか、骨髄まで達するおし方など千変万化の妙味が發揮できるのである。

『天地一指』

天が陽・＋・右手
地が陰・－・左手
右手と左手を合わせると

合掌となる。祈りの構えとなる。

（抜苦与楽をもつて慈悲となす。）というが、相手の苦しみ、痛みを楽にした、正に母心の構えである。親指を人とか入字に付けると、両手母指圧の構えである。

左手を診断、右手を治療とすると、診断即治療の構えである。

前頸部は片手母指圧

側頸部は両手母指圧

後頸部は重ね母指圧

生かすも殺すも首の治療。

精神勤労者には首の固い人が少なくない。これは主として精神の過労や内臓の疲労に原因するものであることは経絡の流注を見ても窺われる。即ち邪気が実しているからである。この邪

気を取り除いて柔軟にして弾力のあるように緩解するには、指圧の最初の一圧は特に慎重を期し、施術部位の虚実を、指頭に心眼を開いた母指頭で推察し、その虚実に応じて補瀉の指圧を

施し、虚せず実せず調和のとれた柔軟にして弾力性のある肉体にすることにより、臓器の疾患は緩和し、各種の細胞が独自の活動を開始し、自然治癒力が喚起せられ、健康を取り戻すと共に健全な精神も宿ることになるのである。

指圧が上達するためには、「コツ」を会得しなければならぬ。「コツ」とは「術」のことである。術は教えられるべきでなく、体得するものである。「習うより慣れる」といわれるように、何回も何回も繰り返して求め行なうことが大切である。

指圧を理解しない人々の中には、指圧はあん摩の中の圧迫法だと誤解しているようだが、これは根本的な間違いである。圧迫法だと思っから強くおせば良いと考え、遂には棒切れでも良いという考えになるのである。

指圧はあくまでも読んで字のごとく指でおすのであ

る。指は生命であり人間に意思と実行を代表するものである。修練された指圧師の一圧の中には、おすことも、揉むことも擦ることも或いは引くことさえも含まれていて、患部の状況に応じて千変万化の診断即治療が行われるものである。

この指圧の極意を会得し指圧の醍醐味を満喫できる境地に達するには、ただただ一心不乱・・・指圧の真髓を求め行ずることである。是非ガンバッテ勉強していただきたい。

指圧療法は、病気を癒してくるばかりでなく、健康力と生命力をよみがえらせ安静を要する病人にはそのような手当てを、軽い病気にはそのような治療を、また病気の予防にはそのような健康法を、随時随時適宜に施すことができる理想的な予防医学でもある。

指圧とは指でおす療法である。痛い所をおすのは人間の本能的操作で、この本能は神様から授かった知恵である。生まれたばかりの

赤ちゃんが母親のお乳を吸う、年頃になると恋心が芽生えてくる。食欲も性欲もみな本能からきた神様からの知恵であるが、この神様から授かった操作を科学的に体系づけたのが今日の指圧である。

『暑さ寒さも彼岸まで』という諺があるが、実に季節の移り変わりを上手に表現した言葉であり、また真理であるから、今日まで伝えられている。そして今後、指圧が存在する限り、永遠に伝わるもうひとつの言葉がある。それは『指圧の心、母ごころ』である。この母ごころのない指圧は人を救うことはできない。それは人を救う指圧が存在する限り続くと確信している。

人間は生きていくためには、自分自身を大切にしなければならぬ。それだからといって、自分のことばかりしか考えぬ、我利我利亡者のような、利己主義者には、本当の幸福は訪れない。共に生き、共に栄える。「共存共栄」そして天地自

然の恵みに感謝する、素直な心、報恩の心、この心が好運を招く心なのである。最も美しい尊い心は、「母ごころ」である。惜しみなく与えて、奪うことを知らぬのが、母ごころである。母ごころとは、思いやりの心なのである。

指圧は単なる刺激療法ではない。物理療法でもない。生命と生命の融合し合う「生命療法」である。「人は病の器」というが、その「病の器」を「健康の器」にするのが指圧療法の使命である。「おせば生命の泉わく！」生命の泉がわく指圧・・・これが指圧の真髓である。

全身療法は指圧の治療効果を高める上にせひ行わなければならない重要操作である。局部治療にとらわれず必ず行うようにしていただきたい。よく「指圧の先生に治療してもらったそのときはよかったが、後はまた元通り」などという声を聞くが、調べてみると10分

か15分の局部圧迫をしたにすぎないのが多い。これでは真の指圧治療とはいえない。

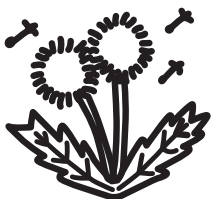
身も心、耕す技(わざ)に意味あふれ 生きて行く道 光りかがやく

(心・技・体で心身統一して、荒れた体、凝った体を指圧で耕すの意)

千里の道も一歩からという。コツコツ歩く、コツコツ勉強するというようにコツコツと続けること、それがどれほど偉大なことか、そしてどれほど苦しくてむずかしいことか！ しかしまずかしい面、偉大な面だけをみて敬遠してはならない。むずかしいことややさしいこと、偉大なことと、身近なことは一枚の紙の表裏なのである。やさしいことだから続けることが可能なのである。そして続けなければならぬことが必ずかしいのである。どんな偉大なことでも継続がなければ、それは単なる気まぐれ三日坊主である。その場限りで消えて行く。継続、反

復がロスや欠点を発見、矯正し反省によって熟練を生み出し、やがては神技や奇跡を作り出すのである。単純で簡単なこと、誰でも知っていること、誰でもできること、それをコツコツと続けるだけで想像を超える偉大な効果を発揮する。それが人生である。

単純、徹底、極限、無我・・・我を忘れておす指に ひびくは奇しき力ぞや 指圧のスローガンに、指圧の心 母ごころ おせば生命の泉わく というのがある。この母ごころというのは、相手の身になって思いやる心である。思いやりの心が大切なのである。指圧療法はこうした「愛」のしるしから出発している。ゆえに指圧する心には愛がなければならぬ。それは人と人の心のふれ合いである。



国際指圧オランダ大会

27期 浪越雄二

2011年6月3日から

3日間、開催地はオランダの首都アムステルダムから30キロ離れた「エンメネス」で大会は行われました。

日本指圧専門学校からは、浪越和民理事長、小林秋朝先生、通訳のWoodburn先生、浪越雄二、スペインから浪越指圧ヨーロッパ(NISE)会長、日西指圧学院院长小野田茂先生(日本指圧学校卒25期)が参加され



ました。

この度の大会はヨーロッパ指圧協会とオランダ指圧協会の共催で開催されました。

大会の参加者はオランダ、ベルギー、スイス、イタリア、ポルトガル、スペイン、各国の指圧学校を卒業した指圧師、160名が参加。今回は予定していた人数を大幅に超えた為、2か所の会場で「指圧とバランス」をテーマに8人の講師で開かれました。

開会式で和民理事長の挨拶では、初めに東日本大震災において各国からお寄せ頂いたご支援、ご声援に対する謝意を述べられた後、今後とも父浪越徳治郎の意思を継ぎ指圧の普及に努力を捧げると共に、ヨーロッパにおける指圧の法制化への期待と指圧師に対しては、患者さんのための指圧、医療としての指圧を再認識す



る必要性を述べられました。

1日目の講義では、Schutte先生による「しっかりとした足で立つ」をテーマに、歩行時の体重移動の重要性等の講義。その後小林秋朝先生による「安定した指圧」をテーマに基本である圧の入れ方、抜き方、姿勢などの講義をされました。

小林先生の講義を拝聴させて頂いた際に、私も努力をしなければと考えます。

続いてオランダ在住27年でマッサージ芸術文化アカデミーで主任教授として教えられている宮下良則先生(日本指圧専門学校卒23期)による腰部、殿部における指圧の効果を症状に合わせて講義されました。

2日目はアムステルダム

市内のホテルオークラ内で指圧クリニック「たちばな」で院長をされているオランダ在住17年の宮本直美先生(日本指圧専門学校卒29期)による「体の調整とバランス」というテーマで、実技指導をメインとして体の歪みの矯正等を講義されました。

続いてオランダのKranto先生とPata先生による「仙腸関節の療法」をテーマに仙腸関節における頸部の施術の大切さと、頸椎と仙腸関節の関係をパワーポイントを使い講義されました。

スペインの小野田茂先生は「ASPA理論による体のバランスのとおり方」を



テーマに指圧施術における理にかなった身体の機能的な使い方を、実技を取り入れ講義されました。

最終日は「腹部の基本指圧」のテーマを小林先生と浪越雄二は別々の会場で講義をしました。

腹部のデモンストレーションの後、参加者が2人1組になり号令に合わせて実技が行われました。参加者の皆様の真剣な姿を見て基本指圧がいかに大切であるか私自身も改めて見直すことができました。

これも、何年も掛けてヨーロッパに指圧を普及して来た本校教職員、スペインの小野田先生の努力の結果だと私は確信しました。

今回の大会は緑に囲まれとても静かな環境の中で行われ、参加者ともより親交を深める大会になったと思います。

今回の大会はとて有意義な大会でした。

この後小林秋朝先生は一人でイタリア、ローマの3日間の指圧大会に行かれました。

オランダ指圧事情

25期 小野田 茂



「ヨーロッパ浪越指圧代表の挨拶 小野田 茂先生」

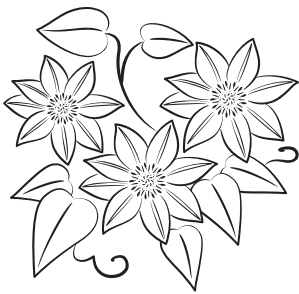
オランダの指圧は、伝説のピンクス先生抜きでは語れない歴史があります。彼は、オランダに長年住居を構えていましたが、出身はスコットランドと聞いてい

ます。
60年代ドラママーとして来日して、日本滞在中に指圧と出会い、日本指圧専門学校第15期聴講生として、徳治郎先生と徹先生に直接浪

越指圧を学び、修得した後オランダに持ち寄り、昭和54年オランダで指圧学校を開設しました。浪越指圧をオランダに普及したパイオニアがピンクス先生です。その流れがオランダの浪越指圧の原点です。60歳半ばにして患者さんを治療している最中に脳溢血でお亡くなりになりましたが、これも彼らしい指圧に賭けた男の生き様として、生徒に物語られています。

またこの国の指圧は、ヨーロッパで始めて保険が適用された実績があり、イタリヤとはまた違った広がり方をしている国と言えます。お国柄も私が住んでいるスペインとまったく異なります。例えば、スペイン、イタリヤは、パッションの国ですので、セミナーにおいて少々理論的に説明が足りないときでも情熱を込めて語り、ところどころにユーモアを入れてスピーチ

を盛り立ててゆくと、参加者ものつて来て、会場が熱気にあふれて最後はワイワイで締めくくり、ラテン系のりのり作戦の成功で終わらすことが出来ます。しかしオランダの講習は、理論で納得させて前に進まないと参加者は納得しません。私はこのことで何回失敗したことでしょうか。笑いを取って盛り上げようとする、確かに通訳を介してのコミュニケーションですので無理があるのですが、シーンとしらけて冷や汗です。いつものように私の助手は、後ろを向いてお腹を押しさえて笑いをこらえています。こんな経験を何回したでしょうか。こんなことからドイツ、オランダの講習は、一歩引いてしまう私です。スペインでの生活が合っているということは、血液型O型の私たる由縁と解釈しております。昨年のオランダにおける久しぶりの気合がこもった講習は、浪越指圧の存在をアピールするには、充分すぎるほどの重厚なセミナーでした。



イタリア・ローマ指圧大会

17期 小林 秋朝

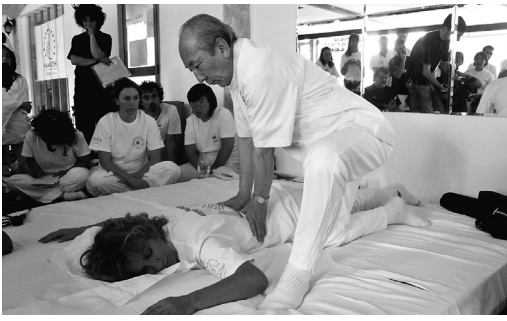
2011年6月10日から3

日間、浪越指圧ヨーロッパ(NSE)・イタリア、Paola Frondoni 先生主催の指圧大会で、講義を行ってきました。

大会のテーマは、「浪越指圧の基本実技」と「疾患別治療法」。とりわけ基本指圧は、全身操作を3日間に分けて再確認し、修練したいとのことでした。

会場はローマの北に位置する

「Circolo Sportivo Aeronautica Militare」というスポーツ会館



小林秋朝先生

で行われました。

私は6月初旬の「オランダ指圧大会」を終えて、アムステルダムからローマへ移動し、夜遅くにスペインから到着された小野田茂先生（浪越指圧ヨーロッパ代表）とホテルで再会しました。大会中は、小野田茂先生にアシストをしていただきました。

大会初日は、9時の開会式後すぐに講義に入り、始めに指圧の基本である指の使い方、指法、垂直圧などの説明をしました。「なぜ基本姿勢を大切にしているのか？」という点に焦点をあて、圧の強弱と密接に深く連動する上肢の関節、とりわけ肘関節の屈伸操作を微妙にコントロールする重要性を解説しながら、体幹の重心移動と一体となって連動している動態を「横臥位と伏臥位」で実演しました。さらに、横臥位にて全身を指圧する「妊婦の指圧法」と、応用編である「坐位指圧」を実



演解説しました。

2日目は、「仰臥位の基本指圧」「むち打ち症の治療法」について実演解説。

「線維筋痛症」。別記。

3日目は、「頭部、顔面、胸部、腹部の基本指圧」「頸椎症の検査法と治療法」について実演解説。

大会に参加された約100名の先生方は、連日早朝から日没まで全てのテーマを真剣に相互指圧で復習されていました。たゆまぬ探究心を感じさせる熱意のこもった、充実した大会でした。

翌朝8時にホテルを後にし、小野田茂先生と再会を約束して各々帰国の途につきました。

『線維筋痛症』(Fibromyalgia)

【症状】：全身の耐え難い恒常的な疼痛（慢性的、持続的に休みなく続く広範囲の激しい疼痛）を主な症状として、全身の重度の疲労や種々の症状を伴う疾患である。症状が進行すると常時激しい全身の疼痛に苦しみ、僅かな刺激（爪や髪への刺激。服のこすれ、音、光、温度・湿度の変化など）で激痛が走り日常生活が著しく困難になる。

首から肩にかけての痛みやしびれ、上肢の痛みやしびれ、腰背部の疼痛やこわばり感、殿部から太ももの痛みと張り感、膝から下腿の痛みやしびれ、眼の奥の痛み、口腔の痛み、頭痛などの様々な疼痛症状が起こる。これらは対称性にでるとは限らず、全身に散在して出現することもある。精神的及び身体的ストレス、気候、環境によって疼痛箇所が移動したり、疼痛レベルが変化することもある。

【原因・診断】：多く諸説があるが原因は不明である。医師が行う血液検査、レントゲン写真、CRPという炎症反応、筋電図、筋肉の酵素、CT スキャン、MRI を検査しても異常がなく、的確な診断や、治療法が確立されていないのが実情である。

日本では人口の1.7%、200万人以上の潜在患者がいるとされている。

2009年より日本線維筋痛症学会が研究調査を行っている。
(出典：Wikipedia)

【講義要旨】

「線維筋痛症」例。

(Tさん、男性、45歳、長身、筋肉質、会社役員)。来院時は港区、J医科大付属病院。ペインクリニック科に通院中であった。

症状、所見

「患部の疼痛、圧痛部位」：第1、第4胸椎右横、肩上部、肩甲間部、右上腕、前腕、指先の痛みとしびれ感。患部は触れるだけでも痛い。

痛みで寝返りが苦痛、睡眠障害、頭痛、耳鳴り、ほてり感、イライラ感、全身の疲労感など。

「指圧」：疼痛部位の数か所は、施術4回までにその都度移動がみられた。過剰な交感神経の鎮静と低下した副交感神経の活動レベルを高めて、ストレスの緩和、血液循環促進、免疫力が高まるように「入念な全身指圧、圧痛点には2点同時に両片手掌圧」。

「治療回数」：8回連続。全90分施術。6回目から徐々に疼痛部の消滅にとまない、ゆるやかに快方に向かった。

「考察」：頸肩腕症候群と症状が酷似であるが、線維筋痛症初期の過程と推測している。

イタリアの指圧事情

日西指圧学院 学院長

25期 小野田 茂

イタリアは、ヨーロッパで一番指圧が盛んなところ。歴代のイタリアの首相も指圧の常連者です。正式に登録している指圧師は20,000人を数えると

いわれています。一番大きい団体はイタリア指圧師連合で、ミランを本拠地として会員数6,000人の大所帯です。

ヨーロッパ指圧浪越を立



「小野田先生、受講生、小林先生」

ち上げて10年になりましたが、活動が活発な国はやはりイタリアです。イタリアの指圧の動きがヨーロッパの他の国々の指圧の動きに影響を与えていることは疑いの余地はありません。

昨年の初夏に日本指圧専門学校教員である小林朝先生がイタリアのロベルト先生を代表とするヨーロッパ指圧浪越の招待で3日間のセミナーを開催されました。約100名のイタリア全土から集まった指圧の学生、または指圧師が3日間のセミナーに臨みまし

た。今指圧の成熟期に入ったイタリアは何を日本からの指圧の先生に望んでいるのでしょうか。ヨーロッパの指圧の歴史は約40年が有に過ぎようとしています。私がスペインに渡ったのが84年の初夏です。27年の歳月が流れました。90年代やっと私のセンターも余裕が出来、後進の指導に情熱を注ぎだしたときは、ヨー



「大きな指圧師とスキンシップ」

ロッパも指圧の第2次ブームで（スペインは例外）マスコミなども盛んに取りあげていました。

しかし、実態は所詮アメリカからわたってきた指圧です。ファーストフードよろしく、基本を忘れた、そして圧のない妙に捻じ曲げられた指圧に置き換えられたものがヨーロッパの指圧として暴れまわっていました。

いくら私が、日本の指圧はと叫んでみても、基本のない指圧を、基本のない先生が教え、その生徒がまた先生になりの繰り返しです。ビジネス先行の指圧の時代が続きました。その危機感が、ヨーロッパ指圧浪越を立ち上げた最大の要因でし

た。

日本指圧専門学校の先生方がヨーロッパの各国の指圧関係団体の招聘で忙しい日程を割いて来て頂いて、今年で9年目になります。まことに小林先生、雄二先生はさることながら、毎回忙しい時間を割いてくださる、和民理事長に改めて感謝の意を表します。

今では、浪越とは縁のない指圧団体までが浪越を招待してくださり、浪越指圧を習うようになりました。ヨーロッパの各団体が今になって気がついたことは、指圧のルーツはどこかというところ、基本の大切さでした。

こんなときに小林先生始めベテランの指圧学校の先

生方に遠方より来て頂き、浪越指圧を教えていただくことに、逆に新鮮な気持ちでセミナーを受けているイタリア人を見て、改めて指圧専門学校時代の基本の回復に感謝するしだいであり

ます。今回、約半世紀の徳治郎先生始めベテランの浪越出身の先生方の浪越指圧、世界普及を感謝して国際大会をマドリッドで開催しますが、日本指圧専門学校の生徒が、海外雄飛を夢見て、それを簡単に実現できるように、より太いパイプを作ることに喜びを感じつつ、日々の指圧道に生きたいと思えます。

第五十二期 卒業式

日本指圧専門学校第53期卒業式が3月3日(土)リーガロイヤルホテル東京にて午前10時から執り行われた。



黒沢課長の司会で、開式の辞、君が代斉唱の後、卒業証書の授与に移る。昼間部廣瀬直子先生・石塚洋之先生、夜間部金子泰隆先生・藤田一彦先生各担任の呼名により一二名の卒業生が一人一人壇上に上り、

石塚寛校長により卒業証書と専門士の称号が授与された。

今年には感謝の意を記したTシャツを身にまとい、壇上という斬新な発想を持った学生がおおり、会場を一気に沸かせた。

続いて賞状の授与に移り、まず3年間皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。引き続き功労賞(学級委員)、優等賞の表彰、さらに指圧研究会や浪越スポーツセンター部、オイルマツサージ部、修練会など部活動に活躍した学生が表彰を受けた。最後に東洋療法学校協会賞がA組の福島理江さんに手渡され、会場は拍手喝采に包まれた。

受賞者



窓会会長より温かい祝辞を頂戴しました。次に祝電披露、来賓紹介の後、在校生代表増田慎一さんによる送辞、卒業生代表大久保潤さんによる答辞が述べられ、各々が心の中で3年間の思い出を巡らせているようでした。校歌「指圧讃歌」を合唱し、閉会の辞をもって卒業式を終了した。

12時より卒業謝恩パーティーが開催された。A組古賀裕之さん、福島理江さんによる司会により進められ、金子泰隆先生の乾杯の音頭で祝宴に入る。歓談の後、3年間の思い出が大きなスクリーンに上映され、歓声が上がった。

浪越理事長、石塚校長にそれぞれ花束が贈呈された。感動の中、14時卒業謝恩パーティーを終了した。引き続きクラス会が開催された。仲間との別れを惜しむ楽しい時間はあっという間に過ぎ、散会。その顔はみな晴れ晴れとしたものでした。

卒業生第53期代表からのひと言メッセージ「いつでも」 A組 島野 直人

居ても、思っていました。それは、孤独。いつからか人知れずにフツと思う。何をやるにしても空虚に思える、そんな事、あなたにはないですか。人は一人で生まれて、一人で死んで行く。一つの事実がある。そして、生まれてから死ぬまで色んな人に出会い、色んな世界を知る。年を重ねれば、重ねる程に世界はしがらみだらけで、息が詰まりそうになる事を知った。何かを壊していかないと生きてゆけない事も知った。罪や罰や背徳や嘘や金や権力や事実と結果が人生の全てならもう、全部やめにして消えたいと思う。でも、世の中は今まで書いた事が全てじゃない事も知った。絶えない孤独、自分の中で膨らむ。それでも自分の事を心に留めてくれる人がいる。その人の中で自分が生きていている事を知れた。いつでも自分は人に助けられて生きて来れた。あの人のおかげで自分は変わったと一生思っていた。自分以外の何かを愛おしく思えたなら、空虚も孤独も、楽になるのだと思う。純粹よりかは、多少汚れていてもいい。ほんの少し、歪でも、人は何か壊して生きていて、孤独なのかもしれない。それで

も、僕達のやっていく仕事は、いや志事は人を生かせる尊い志事なんだ。人に絶望して心を閉しても、また心に光を灯すのは人。だから、やりたい事をやれない人や自分を頼りにしてくれない人のため、何より自分のために僕は、新しい一歩を踏み出す。準備は出来てる。いつでも。三年間を振り返って A組 吉野 麻歩

「私の心も母ころ」 B組 並木 佑介



B組 小澤 幹美

学校生活は思った以上に早く過ぎたよ
うな気がしま

3年間を振り返って

授業が始まるまでは笑顔。始
まってからは真つ青。もう授業
が始まって、笑顔を失くしてい
るあなた。そうあなた。諦めて
下さい。勉強する時が来まし
たよ！

恐ろしいスピードで授業が進
み、苦しいテストを作る担任が
いました。ニコニコ私達を苦し
める担任。その名は廣瀬直子先生。
廣瀬解剖は大変です。私は吐
き気が起こる程のテストがある
ことを初めて学びました。しか
し、大変ですが一番やりがい
があり、愛のあるテストを作っ
てくれます。今は廣瀬先生が鬼に
見えますが、三年も経
ては苦しいテストが懐かしくな
り、変わったクラスメイト達と
再び問題を解き直す程の廣瀬チ
ルドレンになってはいるはずで
す。次の廣瀬チルドレンはあなた
です。応援しています。

何の参考にもならなかったと
思います。とりあえず貴重な
学生生活を楽しんで下さい。私
も出来ればまた53期廣瀬チル
ドレンと三年間過ごしたいな。本
当楽しかった。53期の皆様の御
活躍を期待しております。寂し
いので同窓会早くしましょう。

三年間、先生方、生徒の皆様
大変お世話になりました。私に
とって最高の学生生活でした。
みんなありがとう！
では最後に、右、厳守の事！

す。正直、つい最近入学したよ
うな感じがしてしようがないで
す。まだ卒業した実感も湧いて
なかったりします。春休みの気
分です。まいった。



C組 影山 晃央

浪越に入学
して最初の授
業を終えた瞬
間に、不安だ

間にも、なんだかそんな感じなの
で、なかなか思い出に浸れませ
ん。その位あつという間でした。
それでもネタは出さなくては
いけないので、そうですね、学校
居心地良すぎました。のわりに
だいぶ欠席してまずけどね。す
いません。

先生方が良い人ばかりでした。
最後まで楽しく通えたのは、先
生方が優しく、いい意味で厳し
かったお陰だと思つてます。勉
強全般苦手だった自分には、補
講などのサポートがすごく有り
難かったです。助かりました。

あと、個人的に好きな場所は
喫煙所だったりします。先輩後
輩関係なく、いろんな人と話せ
る環境は、部活動に入つてな
かった私には楽しい場所でした。
そんなこんなで未だに就職活動
中で必死な小澤がお送りしまし
た。

終わりに良ければ全てよし

は素晴らしい先生方(笑)のご
指導のお陰で何とかなつたと心
から思っています。
自分は何かと問題がある学生
だったと思いますが諸先生方
(特に金子ヤス先生)の協力な
どのお陰で卒業できると感謝し
ています。クラスメイトにも色々
助けてもらつて(多分)感謝し
ています。飯田橋から学校までの
道のり、帰りの坂で勉強の話を
したり変な話をしたり、浮わつ
いた話をしたり、楽しく学校生
活を送れたと思つてます。



C組 高橋亜純美

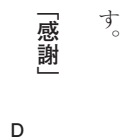
浪越に入学
して、長いよ
うな短いよ
うな3年間が過
ぎ去りました。入学したての頃
は、卒業したら仕事で疲れてい
る人を癒すような職に就きたい
と考えていました。

しかし、3年間で人生は変わ
るもので在学中に結婚、妊娠を
経て、2ヵ月後には出産を迎え
ます。
先日、国試に挑む母の気持ち
など知ったこっちゃないと言わ
んばかりにお腹の中で暴れ回る
赤ちゃんと共に、試験会場に乗
り込みました。担任の先生から
は「試験中、分からない問題を
お腹に聞いたりするなよ」と言

われていましたが構わず聞いて
みました。
半年間ずつと胎教代わりに授
業を聴かせていたつもりでした
が、お腹が反応した解答は全て
ハズレ。
結局は自分の知識と勘以外
頼りになるものは無いんだと
確信した次第です。

大きなお腹を抱えて学校に
通い、国試を受けるなんて
ちよつと無理なのではないかと
思いました。
しかし、妊婦さんの学生さん
も過去に何人もいるという話を
聞いたこともあり、ちよつと欲
張つてみようかなあと言う気持
ちで頑張つてみました。その間
支え続けて下さった先生方、ク
ラスメイトには心から感謝して
も足りなくらいです。本当に
ありがとうございました。

指圧師として仕事をするのは
少し後にはなつてしましますが、
この経験を踏まえ、指圧の良さ
を伝えて行きたいと思う次第
です。



D組 高岩 伸好

「3年間通学
して卒業でき
るかな？」
と在学時に

「感謝」
D組 高岩 伸好
「3年間通学して卒業でき
るかな？」
と在学時に
何度か不安にかられました。何
故なら、職場から電車で通学す
ると毎日遅刻する事に気づいた

のです。このままではやばい！
苦肉の策が職場のバイクを借り
、授業後にまた仕事に戻るとい
う技でした。それでも遅刻&欠席
が重なり「注意書&警告書」を
もらう事もあり、正直な話、何
度か心が折れそうになりました。
今、無事に国試を終え、よう
やく、3年間を振り返る余裕を
持ちつつこの文章を書いてます。
振り返ってみると、ここまでこ
れたのは決して自分の力だけで
はなく、多くの方に助けられた
からだと思えます。全ての方に
感謝の言葉を...と思いましたが、
字数制限の都合で3点に限定さ
せて頂きました。

まず、3Dの皆様。夜間で疲
勞する時間帯に関わらず、皆様
の授業に意欲的に取り組む姿勢
は素晴らしいと思えます。
先生方の話にしっかりと反応して、
積極的に授業をつくつてました。
おかげで、私も授業を楽しん
でいける事ができました。クラス全
体の出席率が高く、皆勤の方が
多いのもいい刺激でした。
それから、2つ目は指圧との
出会いにも感謝です。身体全体
で押圧する事の難しさを思い知
りました。未熟ですが、いつの
日か先生方のように「私は指圧
師です。」と胸を張って言える
よう本気で精進していきます。

そして、3つ目は、東洋医学
との出会いです。概念すら理解
できず、経穴が同じ漢字に見え
たりして苦労しました。しかし、
東洋医学の授業で使うわかり易
いプリントに救われました。理
解できるようになり、興味を持
つ事ができました。私は国試対
策も教科書や参考書は一切使わ

でも、自信がついたのは、実
技でした。週3回の指圧の授業、
そしてオイルマッサージや按摩
のクラブ活動です。指圧以外の
手技を知る事によって、指圧の
すばらしさが良くわかったのが
自信にもつながったのだと思
います。やつとスタート地点に立
てるようになりましたが、こ
れからが大変なのだと思います。
今迄は、先生やクラスメイトが
いて助けてもらいましたが、こ
れからは一人。皆さん、本当に
ありがとうございました。



D組 作田 早苗

「医・食・
住」を3本柱
に掲げる治療
家になろうと

決め、入学しました。あつとい
う間の楽しい3年間でした。1
年の時は、学校生活や勉強に慣
れるのが精一杯。2年の時は、
慣れたのもあり、楽しんで学校
生活を送り、3年生の後半にな
り、慌てて勉強を始めたとい
う感じです。今は、もっと勉強を
しておけば良かったと反省。反
省。
「3年間通学して卒業できる
かな？」この不安と葛藤する
日々が終止符が打てそうです。
ありがとうございました。感謝
です。



新入生の(56期)誓い

B組 星野 喬一

入学を許可いただき、ありがとうございます。震災後、本校のOB・OGの方々が避難所を訪問し、まさに腕一本で被災者の治療にあたる姿を目にしたとき、震えるような感動を覚えました。指圧の前と後では被災者の様子が明らかに変化し、その生き生きとした表情は本当に命の泉が湧いているようにも見えました。諸先輩方のように、私も母ごころを継承する一員になりたいという思いで出願したので、今こうしてスタートラインに立てたことを心から光栄に思います。

この春、晴れて日本指圧専門学校に入学を果たし、今はこのからの学校生活がどうなるのかと期待に胸を膨らませています。私は前職保育士として9年間保育園で働いていました。指圧師になる事は保育士同様私の夢であり、今その夢を叶える為のスタートラインに立てた事をとても喜びに感じています。

身内の看護と介護の経験から、症状への対処だけでなく、心身両面の健康に配慮し、未病や予防にも意識を向けることのできる医療人を目標としています。これから3年間、しっかりと医療の知識と技能を習得し、社会に貢献できるような邁進したいと思えます。また、人に触れる仕事なので、細やかな気遣いやコミュニケーション力も身につけたいと考えています。先生やクラスメイト、諸先輩方との交流を深めながら、楽しく学んでいけたら嬉しい限りです。どうぞよろしくお願いたします。

私が指圧を学ぼうと思ったきっかけは、週れば臨床心理学を学んだことにある。それまで私は、心理学は心を中心に扱う分野だと思っていた。しかし、学ぶにつれて心と体は密接に関係しているのだということを体験的に知り、また、身体に対するアプローチを通

C組 菅野実希子

初めから指圧師を目指して入学した人に比べれば、私は少々動機がずれているのかもしれない。しかし、学ぶ意欲には変わりがないと思っている。アプローチの方法は違いますが、心理療法も指圧も、目指すところは患者さんの健康であり、患者さんがよりよい人生を送れるようにサポートすることであると思う。

D組 長島 潤

私はこの浪越学園での3年間で、たくさん先生や同じ志を持つ方々との出会いを通じて、自分自身をより大きく成長させられるように深く学び、様々なことを経験し、吸収していきたいと思えます。そして、卒業後には私の目標である『相手の気持ちに寄り添い、その気持ちに共感することができ指圧師』になり、地域社会に貢献できるような人間になりたいです。

して心に働きかける手法に興味を抱くようになった。そしてたどり着いたのが指圧である。

3月11日の出来事から早1年と数か月。未曾有の大震災が東日本を襲い、多くの尊い命が奪われました。家族や恋人、また大切な友人も失った人が沢山いたことでしょう。学校に行きたくても行けない人や、家を無くした方など大変辛い状況の人も沢山いると思います。

私は指圧を通して人間の心と身体を理解し、患者さんと心身両面からサポートできる指圧師になりたい。そのためにも、学びたいことが山ほどある。長い道のはじめは山ほどばかりだが、焦らず着実に学びを進めたいと思う。

春の花々が咲き乱れ、まるで私達の新しい出発を祝ってくれているかのような今日の良き日に、日本指圧専門学校生として、ここに入学出来たことに大変うれしく思えます。大きな希望を胸に抱きながら、これから3年間の学園生活が始まるわけですが、仕事や家庭など様々な個々の生活がある中で大変なことも有るでしょう。そんな時は生徒同士で共に助け合い、又先生方や諸先輩方にも良きアドバイスをいただいで進んで行こうと思えます。そして、悔いのな

日本指圧専門学校の3年間、充実したものにすることを期待しています。



ハワイ研修

第十二回ハワイ大学解剖学実習

54期B組 黒田 智枝

ハワイ解剖実習に初めて参加しました。家族や会社の理解もあり、こうして勉強する機会が得られたことに感謝し出発しました。解剖当日、ご献体のカバーがはずされ小柄な女性を目の当たりにした時「どうぞ私の体でお勉強して下さい。」と訴えかけられていた感じがして「遺志を無駄にしないように学ばせていただきます。」と手を合せました。最初は戸惑いもありメスを持つ手に力が入ってしまいました。先生や皆の動きを見ているうちに慣れてスムーズに行えるようになりました。実際に体験してみ



ると、臓器の大きさ、重さ、表面の感触、神経の太さ、強さなど解剖の本やDVDでは得られない事、体感することで五感を通して記憶される感じがしました。脳や脊髄がしっかりと保護されていること、脊髄のHの形がはつきり見れたことに感動しました。二日間の実習を通して、一人一人がご献体に敬意を払い真摯な態度で臨んでいたのを感じました。自由行動の日は念願の単発小型機の操縦体験をしました。オアフ島上空をほぼ一周し、ジュラシックパーク撮影場所、天国の島、デイズニーホテル、小錦邸等を眺めました。離陸、着陸は特に感動しました。飛行中はわくわくし通しでも楽しかったです。ハワイに來たからには真珠湾攻撃により沈められた戦艦アリゾナを是非訪れたいと思えました。いまだ海底に沈んだままのアリゾナ、そこに眠る一七七名の兵士に鎮魂の合掌をしました。最後の夜はサンセット・ディナー・クルーズでハワイの夕陽を見ながら食事を楽しみました。美味しい食事後はダ



ンサー達、給仕の方達と一緒に踊って忘れられないデザイナーとなりました。旅を通してお天気に恵まれた事、今年の解剖実習も教授陣やスタッフの方々のお力添えにより実現できた事、またHISの田尻さん、小南さんには大変お世話になりました。いつまでもハワイ研修旅行が続きますように願っております。

ハワイ解剖研修感想

54期C組 梅田 有希

3月に行われたハワイ解剖研修に初めて参加した。研修だけど、しっかりと自由行動もある欲張りな旅。自由行動1日目は車で遠出。

ラニカイビーチは砂の白と海・空の青を何時間でも眺めていたい程美しい場所。

「天国の海」と名づけたくなる気持ちにも納得。ランチはノースショアでガーリックシユリンプを。これがクセになるほど美味しい。この日訪れたのは富裕層が住む場所のようで、広い庭のある綺麗な家をたくさん見にした。

2日目は早朝にホテルを出発。ダイアモンドヘッドまで歩き日の出を見た。往復1時間ちよつとだけ登り応えは十分。下山後食べたアサイーボウルが余計美味しく感じた。その後ダウンタウンへ。ここにはリゾートの雰囲気はなく、商店街と一緒にダンボールの家が並んでいた。一瞬しか立ち寄らなかつたけれど、想像していたハワイとは違うこの町が印象的だった。ハワイ大学での研修は朝から夕方まで2日間行われた。

さや奇跡的な精密さに触れることができ、感動。献体の横には小さなカードがあり、その方のお名前や職業、既往歴などが簡単に記されていた。このカードを読んだ上で臓器や筋を見ていくと、さらに細かい部分まで意識がいくようになる。先生方からは教科書にはない、だけど、重要な役目を果たす筋や神経の名前、さらに起こりうる疾患や、治療などの説明があった。様々な枠にこだわらず、ひとつでも多くの知識を持つて帰ってもらおうと丁寧な指導・説明をしてくださった先生方の熱意が嬉しかった。

修了式でラザノフ教授より「解剖の一番の先生は献体であり、先生に対しての一番の恩返しはその知識を持ち帰って伝え生かすことだ」とお話しがあった。この貴重な体験をただ「すごい思い出」にしてしまわないように、一つでも多く臨床の場に生かせるように自分なりに噛み砕いていかなければと思う。

この貴重で素敵な機会を与えてくださった全ての方に感謝いたします。本当にありがとうございます。



55期A組 大木 慎平
皆さんは愛してやまない人体の構造はあるだろうか。私自身、1年間の解剖学の授業の中で、人体の見事なつくりのために息をつくようなことは幾度もあったが、とりわけ私が人体の設計者に最大級の賛辞を贈りたい構造が一つ存在する。鼠径管である。

そもそも、今回のハワイ実習への参加を決定した動機の一つとして、某先生より「ハワイでは鼠径管に指を入れることができる」と

いう甘言を賜ったことが挙げられる。当時の私は思いもしない言葉にひどく衝撃を受けた。そして事実私は鼠径管に示指を差し入れることができたのだ。まずはその点に関し感謝の意をお伝えしたい。

今回の実習で非常に良い経験になったのは、想像と実物のギャップを狭められた、ということである。図説によつて学習したことはあつても、私はどこかそれぞれの構造を夢物語のよう

分があつた。図説はあくまで2次元の表現であるし、実物を観察しようにも実体は厚い皮膚に覆われて確認のしようがないからだ。

しかし、実習ではその実体を覆う厚い皮膚を取り除くことができるのだ。メスとピンセットを用いて皮膚を

剥がしていくと、表皮の下には強靱な膠原繊維が張り巡らされ、脂肪組織が筋膜をびつしりと覆っているのが観察できる。図説の上では大した感想も抱かなかつたこれらの構造が、想像以上の強靱さ、密度を持つてそこに存在するのである。

自身の意識と実物の最大のギャップは「空白の無さ」であつた。図説の皮膚筋、神経などの情報は、実際の構造では強烈に圧縮されてお

り、ひとつの空白もなく密着し合っている。私はこの人体の無駄の無さに大きな感動を覚えた。

字数の都合で割愛させていた

筋の走行など、実物から得られるものは山ほど存在するので、少しでも興味がある方は来年度の参加を是非お勧めする。私自身背部の観察が至らなかつたため、来年度の課題としたと思う。

最後になりましたが、私のような未熟な学生に献体してくださった方々、ハワイ大学、浪越の先生方から御礼を申し上げます。



今日より明日へ

同窓生からの便り

指圧の心、母(ママ)よろ

45期 宮下 雅俊



日本指圧専門学校同窓生、在校生の皆様こんにちは。初めまして45期卒業生の宮下雅俊です。

在学中の3年間は新聞奨学生として朝日新聞を配達しながら昼間部に通いました。学業と仕事の両立は大変でしたが、今では懐かしい思い出です。

現在は世田谷区砧にて、『てのひら指圧治療院』を開業しております。

毎日指圧をとおして人々の健康に、貢献できています。事を喜びとしています。私事ではありますが、3歳になる娘は食道閉鎖という疾患を持って、この世に生まれてきました。3年の間に三度の手術と入院を繰り返し、入院中には何度

も危険な状態になることもありましたが、娘へ腹部指圧を施す事で、翌朝奇跡的に元気を取り戻す姿を見ました。

その度に浪越徳治郎先生がおっしゃっていた『指圧の心、母(ママ)よろ』という指圧の極意、本当に命の泉が湧くのだと指圧の素晴らしさを実感いたしました。幸運なことに手術も成功し現在予後も順調でスクスクと成長しています。

娘の命が今こうしてあるも、徳治郎先生が指圧を学ぶ場を後世に残してくれたおかげだと日々感謝しております。

そんな素晴らしい指圧も、皆様も感じていらっしやる通り指圧の社会的認知度の低下、指圧業界の衰退を一指圧師として危惧しております。こんな私でも何かできないだろうかと思いついたプロジェクトが、浪越の卒業生と在校生、学校の教

員の先生が、交流しながら一緒に参加できるイベント『ワールドスマイルプロジェクト』、東京夢舞いマラソンボランティア指圧』でした。2010年から45期卒業生を中心に始めたこのプロジェクトは、東京マラソンの元になった東京夢舞いマラソンの出場ランナーにボランティア指圧を行っています。

昨年は52期の卒業生も参加してくださり、2012年度のプロジェクトのリーダーを52期卒業の相田さんに引き継ぐことができました。在校生や学校サイドの取りまとめを行っているのが、教員の石塚洋之先生になりますのでどしどしお問い合わせください。

そして、日本指圧学会が動き出しました。『指圧を

世界に広めたい』とおっしゃった、故浪越徳治郎先生の思いを受け継ぎ、『指圧を科学的に研究してその効果を証明する事で指圧の発展に貢献したい』という石塚寛校長の強い思いで、卒業生を中心に日本指圧学会の創設が実現いたしました。指圧業界全体を活性化する大きな一歩だと思います。私も微力ながらお手伝いをさせていただいています。

指圧の発展のため在校生、同窓生の皆様の積極的なご参加、ご協力を心よりお待ちしております。また、昨年の日本指圧専門学校同窓会総会でも提案させていただきましたが、映画でも話題になった『Facebook』は2004年マーク・ザッカーバーグがハーバード大学の学生の交流を図る為に

創られたそうです。日本指圧専門学校同窓会でも採用されると、同窓会の活性化にも繋がるのではと考えております。

45期同窓会『指合会』はFacebookでも45期同窓会コミュニティを創っています。A組宮下雅俊、B組石塚洋之さん、C組田中薫さん、D組満留伸行さんが管理者になっておりますので、ご連絡お待ちしております。

最後に45期の皆様にお知らせです。今年はおリンピックイヤーです。45期同窓会『指合会』は4年に1度おリンピックの開催される年に東京ドームホテルで同窓会を行っています。皆様と同窓会でお会いするのを楽しみにしております。

副業から始める指圧

51期 井上 達也



私は現在、専門学校に通っていた時に勤めていた会社で派遣社員として働き

ながら、空いた時間を使って指圧の仕事をしています。東京の自由が丘にアパートの一室を借りて2011年6月に「おけたく指圧院」を一人で開院しました。気持ち的には指圧が本業ですが、残念ながら今のところ、収入面では指圧は副

業です。他の仕事で収入を得ながら指圧の仕事をするこの利点は、①指圧で利益が出なくても、生活していける②もう1つの仕事での人のつながりを持っている③金銭面で気持ちの余裕ができるので、気持ちよく落ち着けて良い施術ができる

①のおかげで借金をせず済んでいます。②のおかげでいろんな方面からお客様が来てくださいます。③のおかげで丁寧な指圧をじっくりできます。逆に欠点としては、④最初はお客様が来ないので、指圧ができない時間が長くて指が鈍る⑤もう1つの仕事との時間調整が大変なことがある⑥金銭面の安心感から、指圧の仕事に対する良い意味での焦りが欠如しがち

パブル景気に見舞われ、それから少しずつ良い流れが出来てきました。精神的な余裕があることによって、常に前向きに考える事ができたとおかげかもしれません。現在は良い意味で指圧やマッサージの業界からは離れて活動をしているので、別業種の方と会ってお互いに助け合う事が多くなってきました。いくつが楽しいイベントにも誘っていただ

My Canada Life

52期 佐藤 真理



At the Lonsdale Quay Market
左より Sae 真ん中 Keita
右 Mari

私のカナダ生活も9ヶ月を過ぎようとしています。私がカナダにきたきっかけ。それはただ「英語が話せるようになりたかったから！」
あと「オーロラが見れるかも！」という期待も！笑
しかし、カナダ生活を送っていくうちに、その目

きました。
・結婚式にて指圧部屋で指圧
・音楽ライブイベントで音楽を聴きながら指圧
・地域活動や大学の講義の場で指圧やマッサージの業界のことをプレゼンテーション
まだまだ課題は山積みですが、自分のスタイルで地道に、指圧を名実共に本業にします。

というような流れで答えてくれます。
英語が全く出来ない私ですが、これなら理解できます。
しかし、なかには足を引かずにいる方、パーキンソン病の方、脳卒中の術後の方なども多く来院されます。そのような症状を訴える方の英語は聞いてもちんぷんかんぷんです。
先輩方に通訳を助けて頂ける時はいいのですが、一人で対処しなければならぬ時も多々あります。まさに。なにも聞き取れないぞ。そんな時、私を助けてくれたのはこの掌でした。
情報が少ない分、あとはお客様の体から、教えてもらうしかありません。
掌にある神経をフル活動にし、そこからあらゆる情報を探ります。
揺らして、動きの悪いところを見つめたり、重さの違いを感じてみたり、左右の差の違い、盛り上がり箇所、圧を入れた時の他の筋の変化など。全てが材料です。
重たい症状を抱えている方は、その箇所をカバーするため、バランスが乱れている方が殆どです。
私の指圧は、殆ど基本指圧の流れの通り。あとは得た情報によって、触る箇所を増やしたり、減らしたり

しています。
初めの頃は、順番を変えてみたり、いろんな箇所を触ってみたりしていました。が、結局基本指圧に戻りました。
なぜかというところ、基本指圧が一番手応えもあり、お客様も喜ばれるから！
私は、その秘訣は繰り返しにあると思っています。繰り返し、同じ箇所を押し出すことで全てのバランスが整ってきます。
週一回のペースでいらつしやる側弯症のお客様も、左右差がかなりあったのですが、基本指圧のみでかなり差が少なくなりました。そしてなにより嬉しいのが、指圧をいままでも知らなかったお客様が、指圧を好きになつてくれる事です。
Canadaでは、指圧を知らない人が沢山います。指圧ってなに？って聞かれると、え？知らないのー？こんなにはずばらしいのに！って叫びたくなります。
こちらに来てから、私は指圧が大好きになりました。清先生の願い。「ひとりでも多くの人に指圧を知って欲しい！」は、いつの間にか私の願いにもなっていました。
私はあとプラス一年、Canadaに残る事に決めました。未だに英語は話せま

せんが、指圧が今の私のコミュニケーションとなつています。こんな指圧をこれからの多くの人に伝えられたら…。
私の指圧人生は完了していく。そうですね？徳治郎先生。



以上サトマリです。

人体科学会で『うつ症状に対する指圧の効果』を発表

24期 金子 武良

二〇一一年十二月三日、四日、南山大学名古屋キャンパスに於いて、人体科学会第二十一回大会が行われました。
私は、三日午後の一般演題として『うつ症状に対する指圧の効果』を発表しました。
最近、うつ症状による体の不調で来院する患者さんが目立つようになりました。病院でたくさん薬を処方されて飲んでいても、あまり回復が見られない方もいました。
うつ症状だけに限らず、指圧で出来ることをもって追究し周知させることが出来たら、指圧業界全体が今まではないでしょうか。今後とも指圧への理解を深められるような発表をする機会を作っていきたいと思えます。

名物先生の近況



指圧の科学化と展望

森 英俊

平成7年(1995)より日本指圧専門学校にお世話になり、本年度で17年目を迎えます。平成7年度〜平成15年度まで「医療概論」、平成16年度〜現在までは「あん摩マッサージ指圧理論」の授業を担当させて頂いております。

当初はわたくしの恩師の西條一止先生(現 宝塚医療大学副学長)から「指圧の科学化」が必要であるのではとのことで、私自身そのような気持ちで日本指圧専門学校へまいりましたわけですが。3年後、指圧研究会がスタートし、毎年研究会を指導し、指圧研究会の代表者が平成10年度(1998)より東洋療法学校協会学会に発表してまいりました。学校のご理解とご協力のもと機器の充実と学生たちの努力もあり、充実した研究がなされてきました。10年が1つの区切りと考えると

りましたが、第1段階のまとめとして、発表論文の10年間分を冊子にまとめられました。また、第2段階のスタートとして本年第1回日本指圧学会が設立されました。

同窓会のみならずご協力があった、さらなる発展につながると思っておりますので、同じ立ち位置に立つて、皆さんで力をあわせて前進することを願っております。

1. 研究の背景

あん摩マッサージ指圧(以下 手技療法)は皮膚、筋肉の刺激を通して全身の緊張を緩和し、リラクゼーションを促すことを目的として用いられています。また、身体に直接接触させることによってストレスが緩和し、疲労感が解消する効果も得られ、さらに神経を沈静化させ、施術者と患者のコミュニケーションを促進する効果もあると考えられています。

また、手技療法という操作によって内分泌系、自律神経系、免疫系が刺激されることにより、さまざまな生理学的な変化が起こり、治療的な効果が得られるものと考えられます。

手技療法を受けると「体調が良くなる」「身体が温かくなる」と言われます。私達は「体調が良くなる」のは副交

感神経機能が高まることではないか、「身体が温かくなる」のは交感神経機能が抑制することではないかと考えています。

ヒトにおいて副交感神経系の評価は瞳孔反応を測定することが可能になり、副交感神経機能を明らかにできるようなりやりました。また、私達は白血球が自律神経によって調節されていることを明らかにしてきました。

手技療法が副交感神経刺激を誘発し、心拍数を減少させることを私達は確認をいたしました。手技療法が自律神経を刺激するのであれば、免疫系および内分泌系も手技療法によって調整されるという可能性を考慮しなければなりません。

2. 今後の研究展望

体調がよく、健やかに過ごせるといふことこそが今日求められていることであり、経験的な施術である手技療法はそのような効果の期待が大きいことは、従来から言われていることであります。その科学的な裏付けに欠けています。この点に対する裏付けの一端が出来るということは、現代人の健康に関する課題に解答の一つを与えるものであります。さらに手技療法が健康の保持増進に貢献でき、疾病の予防への応用範囲が確立することを展望しています。

近況報告

西川 都子



日本指圧専門学校で教壇に立つことになり少々不安を感じていた時、大学で教鞭をとっていた伯父に

「まず三年間頑張りなさい。その間に自分なりのノートができると自信もついてくるよ。」

と言われました。それから三年、なんとかノートは出来上がったものの、毎年生徒さんから出される新たな質問の答えをノートに書き加える日々が続き、気がつけば15年も経ってしまいました。今ではさぞかし自信满满で授業をしているだろう、というところでもないことは皆さんがご存知の通りで……この場を借りてお詫び申し上げます。

現在私は、東洋医学概論と経絡経穴概論を担当させて頂いております。経穴といえば、2006

年にWHO主導により国際経穴部位標準化が留意されました。西洋医学が成人病や生活習慣病などの生活環境と深く関わる症候の治療に対し、東洋医学を取り入れようとする動きの中で、日中韓を始めとするアジア各国間で経穴部位の相違があるのは、今後の東洋医学の発展にマイナスになると考えられたからです。2009年、我が国でも国際経穴部位標準化に基づく教科書が作成され、今年の国家試験は初めて新教科書に沿った内容で行われました。主な変更点としては、正穴は354穴から361穴に増え、前腕の長さは1尺から1尺2寸になり、合谷穴、犢鼻穴、期門穴、日月穴など数十穴の取穴部位が変わりました。すでに臨床の世界で活躍されている方々はすべてをチェックする必要はないと思いますが、国家試験に向けて教える立場としては、変更点をすべて確認し、自分自身も覚え直し、そしてノートも作り直して……今年が三年目、あと一年で自分なりのノートを作り上げようと

頑張っているとところです。個人的な話では、相変わらず年に10回ほど東京ドームに通い、日頃のストレス発散(たまたに蓄積)をしています。長女はこの春中学生になり、長男も幼稚園に通い、たくさんの方々の助けを借りて家事と仕事の両立ができることに日々感謝しています。6年前に墨田区に引越し多少の不便さを感じていましたが、2駅先に東京スカイツリーができてずいぶん住みやすくなりました。

頭にお団子、眼鏡に白衣姿は15年前と変わってませんが、目尻の皺と、頭の中は確実に年をとってきており、最近では学生さんの顔は覚えていても名前が出てこない……という状態です。スカイツリー観光で墨田区にお越しの際にどこかで私を見かけましたら、お名前を言って声をかけていただけると幸いです。



研究発表

前頸部・下腿外側部の指圧刺激が
瞳孔直径に及ぼす効果

◆日本指圧専門学校

学 生 横田 真弥、角田光三郎、加藤 政廣、
大久保 恵、松田 学、田中 洋子、
高野 良治、小野 悠一、渡辺 貴之、
和田由紀子、大木 慎平、佐々木亮輔、
橋本 昭子

指導教員 渡邊 和雄、田中 智子、本多 剛、
黒澤 一弘、石塚 寛、
大沢 秀雄（筑波技術大学）、
森 英俊（筑波技術大学）

I. はじめに

本校ではこれまで第22回～34回の本学会誌において、循環器系¹⁻⁴⁾（心拍数及び血圧の減少、末梢の筋血液量の増大及び皮膚温の上昇）、消化器系⁴⁻⁶⁾（消化管運動の亢進）への指圧刺激による効果を報告してきた。

そして、昨年度⁷⁾より電子瞳孔計を用い、瞳孔直径に及ぼす指圧刺激の効果の検討を開始し、その第1報として、腹部の指圧刺激の効果について報告した。その結果、腹部指圧刺激によって瞳孔直径が有意に縮小することが明らかとなった。本年度はこの結果を踏まえ、瞳孔直径に及ぼす指圧刺激部位の違いを検討する目的で、前頸部・下腿外側部に指圧刺激を行い、瞳孔直径に及ぼす効果について検討したので報告する。

II. 実験方法

1. 対象

実験対象は本学学生及び教職員、計21名で男性14名・女性7名（19～48歳、平均33.1±9.6歳）であり、事前に十分実験の内容を説明し、同意を得た上で実験を行った。

2. 実験期間・場所

2011年4月23日から7月9日まで、本校の基礎医学研究室で行った。実験環境は、室温22±2.0℃、湿度79±15.0%、照度100ルクスで行った。

3. 実験手順

被験者を仰臥位にて、両眼電子瞳孔計（ニューオプト社製、ET-200、図1）を用いて、瞳孔直径の変化を測定した。

4. 刺激方法

(1) 刺激部位（図2、3）

仰臥位で浪越式基本指圧の下腿外側部6点を重ね母指圧、前頸部4点を片手母指圧にて刺激した。

(2) 刺激方法

刺激時間は1点圧3秒で3分間繰り返し行った。圧刺激は通常圧法（漸増、持続、漸減）にて、快圧で行った。

5. 実験手順（図4、5）

被験者に対し、事前に実験内容を説明し同意の上で、体調、眼の疾患などについて問診した。21名の被験者が、前頸部指圧刺激を行う者（以下、前頸部刺激群）と下腿外側部指圧刺激を行う者（以下、下腿外側部刺激群）、指圧刺激を行わない者（以下、無刺激群）の3種類の介入を、日を変えて実施した。電子瞳孔計の測定は被験者を仰臥位にして、床から高さ250cmの天井に設置した直径1.5cmのマーキングを実験中に目視させた。

(1) 前頸部刺激群について

被験者を仰臥位にて、3分間の開眼安静とし、安静後、前頸部に3分間の指圧刺激をした。刺激後、再び3分間の安静を行った。計測は計9分間、瞳孔直径を測定した。

(2) 下腿外側部刺激群について

前頸部刺激群と同様の手順で、刺激部位を下腿外側部として行った。

(3) 無刺激群について

無刺激群は仰臥位にて安静9分間で行った。

6. データ解析

刺激前60秒（Bf.60）の瞳孔直径をコントロール値として、刺激中（St.0）・刺激後30秒（Af.0）より180秒まで30秒間隔で各5秒間を解析した。

7. 統計処理

瞳孔直径の測定値を混合モデルによる分散分析、Bonferroni多重比較を行った。有意判定は危険率5%未満で行った。

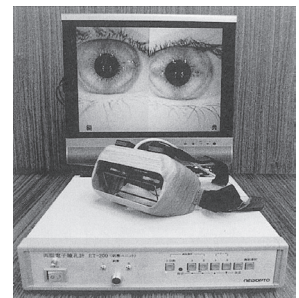


図1 両眼電子瞳孔計

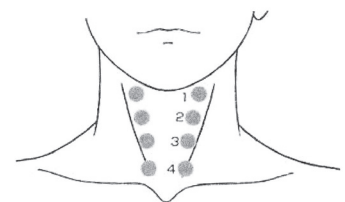


図2 前頸部指圧点4点



図3 下腿外側部指圧点6点

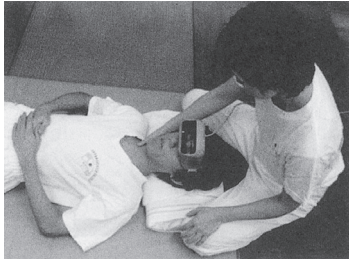


図4 瞳孔計による測定の様子

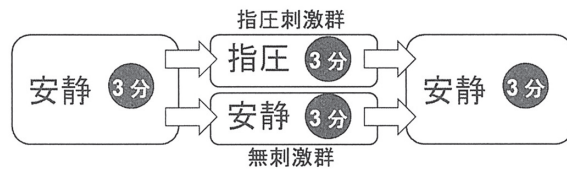


図5 実験手順

Ⅲ. 結 果

右側指圧刺激での瞳孔直径の経時変化の間に交互作用を示した ($p = 0.05$)。

3群間では、前頸部刺激群と無刺激群 ($p = 0.00$)、下腿外側部刺激群と無刺激群 ($p = 0.00$) で無刺激の瞳孔直径が大きかった。

cont (Bf.60) に比べて刺激開始150秒 (St.150) ($p = 0.037$)、刺激後90秒 (Af.90) ($p = 0.001$)、120秒 (Af.120) ($p = 0.042$) で縮瞳した。

前頸部刺激では cont (Bf.60) に比べて、刺激後30秒 (Af.30) ($p = 0.002$)、60秒 (Af.60) ($p = 0.004$)、90秒 (Af.90) ($p = 0.00$)、120秒 (Af.120) ($p = 0.001$)、150秒 (Af.150) ($p = 0.00$)、180秒 (Af.180) で有意に縮瞳した。

下腿外側部刺激では、cont (Bf.60) に比べて変化はなかった。

無刺激では、cont (Bf.60) に比べて変化はなかった。

左側指圧刺激での瞳孔直径の経時変化の間に交互作用を示した ($p = 0.033$)。

3群間では、前頸部刺激と無刺激 ($p = 0.00$)、下腿外側部刺激と無刺激 ($p = 0.00$) で無刺激の瞳孔直径が大きかった。

cont (Bf.60) に比べて刺激開始150秒 (St.150) ($p = 0.048$)、刺激後90秒 (Af.90) ($p = 0.001$)、120秒 (Af.120) ($p = 0.001$) で縮瞳した。

前頸部刺激では、cont (Bf.60) 刺激後30秒 (Af.30) ($p = 0.004$)、60秒 (Af.60) ($p = 0.012$)、90秒 (Af.90) ($p = 0.00$)、120秒 (Af.120) ($p = 0.00$)、150秒 (Af.150) ($p = 0.001$)、180秒 (Af.180) ($p = 0.012$) で有意に縮瞳した。

下腿外側部刺激では、瞳孔直径に有意な反応は認められなかった。

無刺激では、有意差は認められなかった。

Ⅳ. 考 察

今回の実験では、無刺激群および下腿外側部の指圧刺激群では瞳孔直径の変化に有意差が認められなかったが、前頸部の指圧刺激群では瞳孔直径が有意に縮小した。

痛み刺激によって散瞳が起こることが報告されているが⁹⁾、本実験では痛みを伴わない快圧で指圧刺激を行ったために散瞳は認められなかったと考えられる。

瞳孔直径は、交感神経（頸部交感神経）支配の瞳孔散大筋と、副交感神経（動眼神経）支配の瞳孔括約筋によって調節される。本実験で観察された指圧刺激による縮瞳反応は瞳孔括約筋支配の副交感神経の興奮、瞳孔散大筋支配の交感神経の抑制の両方またはどちらか一方の結果、生じたと考えられる。

高位中枢の関与する瞳孔反応においては交感神経が関与することが指摘されてきたが^{9) 10)}、Ohsawa H¹¹⁾、志村ら¹²⁾ は、麻酔下のラットへの鍼通電刺激やピンチ刺激による反射性散瞳は頸部交感神経切断によって影響されないことから副交感神経が抑制されて散瞳が起こることを確認しており、体性感覚刺激に対する瞳孔反応において副交感神経が重要な役割を果たしていることもまた報告されている。種差、麻酔の影響、明順応・暗順応下の違いなどもあるため、今後、詳細な検討が必要である。

前頸部指圧刺激による縮瞳反応は圧受容器の存在する頸動脈洞部が刺激されるため、圧受容器反射を介する可能性も考えられる。さらに、瞳孔支配の自律神経遠心路の出力するレベルと指圧刺激部位とが比較的近接しているため反応が起こりやすかったなどの可能性も考えられる。

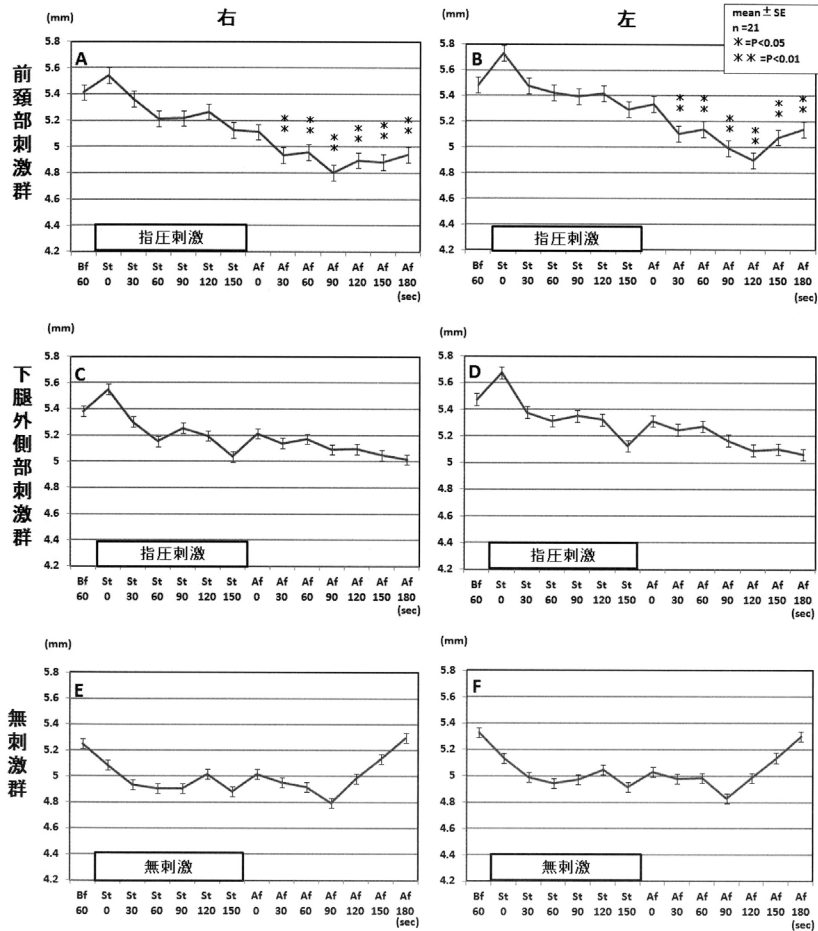
意識下のヒトに対して体性感覚刺激が瞳孔径に影響を及ぼすその機序の詳細についてはさらなる基礎研究が必要であり、今後も、他の部位における指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす影響を検討し、指圧刺激が自律神経に与える効果を明らかにしたいと考えている。

Ⅴ. 結 語

健常成人を対象とした今回の実験で以下のことが明らかになった。

指圧刺激によって瞳孔直径は前頸部刺激では有意に縮瞳した。

下腿外側部刺激では瞳孔直径に有意な反応が認められなかった。



A : 右瞳孔 (前頸部刺激群)、 B : 左瞳孔 (前頸部刺激群)、
 C : 右瞳孔 (下腿外側部刺激群)、 D : 左瞳孔 (下腿外側部刺激群)、
 E : 右瞳孔 (無刺激群)、 F : 左瞳孔 (無刺激群)。
 各々のグラフの縦軸は瞳孔直径 (mm)、横軸は時間経過 (秒) を示し、mean ± SE で示した。
 Bf : 刺激前 (control)、St : 刺激中、Af : 刺激後、* p<0.05、** p<0.01

図6 前頸部・下腿外側部の指圧刺激による瞳孔直径の変化

◆◆◆謝 辞◆◆◆

稿を終えるに当たり、本実験にご協力頂いた本校教職員及び学生諸氏、ご指導くださった先生方に心より感謝の意を表します。

参考文献

- 1) 小谷田作夫、他：指圧刺激による心循環系に及ぼす効果について、東洋療法学校協会学会誌22号；40～45、1998
- 2) 井出ゆかり、他：血圧に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌23号；77～82、1999
- 3) 蒲原秀明、他：末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌24号；51～56、2000
- 4) 加藤 良、他：前頸部指圧刺激が自律神経機能に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌32号；75～79、2008
- 5) 黒澤一弘、他：腹部指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌31号；55～62、2007
- 6) 佐藤広大、他：下腿指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌30号；34～38、2006
- 7) 栗原耕二郎、他：腹部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌34号；129～132、2010
- 8) Oono,S.,Pharmacological studies on pupillary reflex dilatation.J Pharmacol,15,95～112、1965
- 9) Ward AAJ,Reed HL : Mechanism of papillary dilatation elicited by cortical stimulation.J Neurophysiol 9 : 329～335、1946
- 10) Lowenstein O,Loewenfeld IE : Role of sympathetic and parasympathetic systems in reflex dilatation of the pupil.Arch Neurol Psych 64 : 313～340、1950
- 11) Ohsawa H,Yamaguchi S,Ishimaru H,et al : Neural mechanism of pupillary dilation elicited by electro-acupuncture stimulation in anesthetized rats,J Auton Nerv Syst 64 : 101～106、1997
- 12) 志村まゆら、大沢秀雄、富田明文、佐藤昭夫：皮膚侵害刺激による反射性瞳孔反応、自律神経、37 : 584～590、2000

学

園

祭



今年の学園祭は、
7月21日（土）に
行います。

本校の学園祭が、平成23年7月23日（土）に開催されました。

校庭での模擬店、坐位指圧、校舎でのフリーマーケットコーナー、チャリティー指圧、喫茶店、イベント等……例年以上の盛り上がりを見せ、一日楽しい時間を過ごすことが出来ました。

石塚寛校長先生が発起人となり始まった阿波踊り「指圧連」が、さらにアツく盛り上げました。

また、同時に学校説明会が開催されました。本校の特色や授業内容等を受験希望者に伝えることができ、非常に意

義深い時間となりました。

今回で第7回目になりましたが、楽しみにして下さっている方の声を聞くと、年々地域に根付いてきているように感じます。委員をはじめとして学生達は各コーナーの充実をはかるべく頑張っております。お知り合いの方、入学を考えている方などお誘いあわせの上、ぜひ、足をお運びください！

最後に、学園祭にご参加いただいた皆様に心より感謝いたしますと共に、学園祭を盛り上げてくれた学生に心よりお礼申し上げます。

平成25年度 浪越学園 日本指圧専門学校 入学試験案内

試験名	試験日	対象／備考
① 社会人入学試験 第1次	9月9日（日）	社会人（高校卒業以上）
② 推薦入学試験	10月14日（日）	高校卒業見込み
③ 一般入学試験 第1次	11月11日（日）	高校卒業以上
④ 社会人入学試験 第2次	12月2日（日）	社会人（高校卒業以上）
⑤ 一般入学試験 第2次	平成25年1月20日（日）	高校卒業以上

*願書受付期間、入試科目につきましては、日本指圧専門学校事務局までお問い合わせください。03-3813-7354

*⑤の一般入学試験第2次は、社会人入学試験第2次で定員に達した場合は実施しません。

寄付金賛助者ご芳名

平成二十三年年度 三一七件

九五七、〇〇〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

☆壹万八千円

☆壹万四千元

☆壹万四千元

☆壹万四千元

☆壹万四千元

☆壹万四千元

☆八千円

☆八千円

☆八千円

☆八千円

子④松浦篤④旗生素子

☆六千元

☆六千元

☆五千元

☆四千元

☆四千元

☆三千元

☆三千元

☆三千元

☆三千元

☆三千元

☆三千元

☆三千元

川畑女恵子⑦小嶋忠雄⑦田中克幸⑦松永哲夫⑦関根根博⑦鳥山久子⑦坪井愷⑦海阪治⑦宇佐美康夫⑦広明文夫⑦梅枝千代子⑦木暮晴雄⑦中山節⑦半澤進⑦古島昇夫⑦栗村輝子⑦木村龍一郎⑦山本鉄也⑦田沢佳世子⑦五十川直孝⑦石井達也⑦木村牙子⑦小野朋子⑦小林章一⑦北條崇成⑦當麻康江⑦稲生妙子⑦細沼哲男⑦大久保龍⑦大島和夫⑦稲場幸夫⑦立部正則⑦鷹股慎吾⑦宮下麗子

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

☆二千元

岡和子⑧武田紀行⑨野口幸子⑩田辺晴一郎⑪小坂八郎⑪坂本明子⑪眞間時男⑪岩切秀樹⑬鳥実専二⑭塚田邦広⑮松本匡一⑯濱田洋⑯土屋西治⑯中村由子⑯吉田里枝⑯今井美奈⑯平井伸穂⑯平井浩子⑯萩原嘉寿代⑯田代陽一⑯栗野ちず子⑯中村福子⑯鷹木陽子⑯奥沢章一郎⑯勝沼喜夫⑯佐藤一雄⑯天海誠⑯比留間民子⑯三好英子⑯麻生島勇⑯三尾英昭⑯新村忠志⑯金子ミチ子⑯高田とし子⑯矢野久生⑯鈴木好雄⑯小林静佳⑯青木豊⑯下田文字⑯鳩宿照男⑯村田修八⑯玉川隆⑯湯浅昇⑯桜井健二⑯富田芳平⑯野田里子⑯宮脇利博⑯橋本二郎⑯栗野光秋⑯曾我慎一⑯中村一夫⑯田村欣也⑯高橋耕作⑯前田秀隆⑯松本輝男⑯石崎房枝⑯中村陽子⑯岡本久美子⑯村井美枝子⑯岡本草苑子⑯高野昇司⑯佐藤義男⑯田島公代⑯布瀬安男⑯飯島治雄⑯大貫久美子⑯鈴木きん⑯関伊智朗⑯山田三義⑯工藤文宏⑯横田富康⑯佐藤優⑯笠原正親⑯野口雅子⑯加園政夫⑯東光一⑯内城勇造⑯小野関健光⑯柴田俊久⑯内山直行⑯小松せつ子⑯池上文得⑯福安志泰⑯石黒正孝⑯花垣浩美⑯下田政一⑯西井一志⑯田中伸明

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

☆壹千元

③吉本清隆③平尾清一③岩見和夫③佐藤良一③立野忠義③西海泰子③大城裕子③大久保昭男③小峰敏美③岡崎浩二③小山郁子③遠藤久孝③伊地知啓介③木下裕司③篠崎操③田島秀樹③岩下禎夫③鶴田弘二③山崎信子③白川恵子③三村礼子③百井栄子③岩城勝正③岡峰有紀③齊坂京子④菅野不二雄④三村公明④鈴木喜也④小原淑子④相澤寛和④本間博④江藤久男④金井俊潔④三田和佳④田中久雄④柏崎初子④相澤文隆④川村武④関口渡④中野俊夫④堀口明義④平井正子④休宮清彦④中川時示④石井勝雄④若林守④入江徹④鈴木喜美子④前田孝男④清野幸夫④岡野昭④重森祐二④清水郁夫④木下真一郎④松下友香子④中島寅雄④鈴木一④加藤正毅④金城光④星野智④松本修④月足弘法④荒海恵子④大木直美④鈴木啓太④角伸浩④竹内亜弥④中盛祐貴子④菊崎カデナ④細川登喜治④込山哲郎④山本みどり④瀧本光代④紀野由美子④廣田哲也④佐藤光明④西村洋平④山野四郎④岩瀬夏代④嶋崎正利④菅野亜樹④高村武見④佐藤祐太

編集後記

昨年の3・11東日本大震災から一年と余月が過ぎましたが未だ復興への努力が実らず苦境に立たされている方々には心からご心痛はいかばかりかとお見舞い申し上げます。震災の大きな打撃に追い打ちを掛けるような金融不況、国家政治への不安と我々の心を破るような環境は後を絶ちません。でも、私達はそんな中、生き抜いて行かなければなりません。「天地一指一指圧のこころ」と浪越徳治郎先生のお教えをもう一度思い出し心に刻み、母指に魂を込め、努力を惜しまず日本の平和、そして人類の平和の為頑張ってくださいませ!!

今回で会報誌も皆様のご支援のお蔭を持ちまして第33号を迎える事が出来ました。ご支援ご協力を頂きました先生方、本当にありがとうございます。

第33号は新しく会長に御就任されました川原善次郎先生のご挨拶に始まり、母校にて行われた第16回実技講習会、静岡で行われた第17回実技講習会の記事オランダ、イタリア紀行、第53期卒業生からのメッセージ、第11回目を迎えたハワイ大学解剖学研修の記事、ご活躍目覚ましい同窓生からの便り、本当に懐かしい名物先生からのご投稿等と盛り沢山となっております。楽しくお読み頂けたら幸いです。何かご意見、ご感想等が御座いましたら同窓会会報委員までお知らせ下さいませ。これからも会報誌編集、頑張ってくださいませ。どうぞ宜しくお願い致します。(智久)

平成24年度 通常総会・新入会員歓迎会（懇親会）

一、と き：平成24年6月10日（日） 10時

二、と ころ：茗溪会館2階 文京区大塚1-5-23 電話 03-3943-0321

交 通：地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 2分/JR 池袋駅より車 10分

三、内 容：・総会（10：00～10：50）

活動報告、会計報告、監査報告、活動報告、予算案

・記念講演（11：00～12：30）

「おもしろ解剖学」

講師 石塚 寛先生 徳島大学名誉教授 日本指圧専門学校校長

・新入会員歓迎会（懇親会）（12：30～14：30）

四、新入会員歓迎会（懇親会）費：8,000円（当日納金も可）

五、申 込：会報誌に同封されておりますハガキにて出欠をお知らせください。

また、新入会員歓迎会（懇親会）参加の方は会費8,000円を同封の郵便為替用紙にて事前に納めていただきますと、受付事務の混乱が妨げますのでご協力お願い致します。

*同窓会事務局より

本年度の同窓会総会会費は、同封の郵便振込取扱票にて事前にお納めください。

当日の現金による支払は一切お受けできませんのでご了承ください。

日本指圧専門学校同窓会

決算書・予算案

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

貸借対照表

平成24年3月31日現在

収入の部			
	23年度予算	23年度決算	24年度予算
前年度より繰越	8,604,828	8,604,828	7,412,384
入 会 金	1,800,000	1,410,000	1,800,000
運 営 費	1,100,000	1,192,000	1,100,000
総 会 収 入	800,000	504,000	800,000
預 金 利 息	1,000	79,874	1,000
そ の 他 収 入	10,000	18,500	10,000
寄 付 金	500,000	957,000	500,000
講 習 会 費	0	60,000	0
新規事業引当金戻入益	1,000,000	992,669	1,000,000
収 入 合 計	13,815,828	13,818,871	12,623,384
支出の部			
	23年度予算	23年度決算	24年度予算
総 会 費	1,500,000	1,190,140	1,500,000
講 習 会 費	1,000,000	828,857	1,000,000
会 報 発 行 費	1,500,000	1,181,392	1,500,000
通 信 費	500,000	397,707	500,000
印 刷 費	100,000	0	100,000
渉 外 費	500,000	166,630	500,000
交 通 費	300,000	247,980	300,000
慶 弔 費	100,000	35,882	100,000
事 務 用 品 費	30,000	17,822	30,000
雑 費	50,000	25,145	50,000
情 報 管 理 費	300,000	210,363	300,000
消 耗 備 品 費	50,000	4,190	50,000
役 員 会 議 費	50,000	49,222	50,000
設 備 使 用 料	50,000	36,000	50,000
予 備 費	150,000	0	150,000
新 規 事 業 費	1,000,000	992,669	1,000,000
減 価 償 却 費	93,000	92,488	93,000
新規事業引当金繰入	800,000	800,000	800,000
事 務 活 動 費	500,000	130,000	500,000
支 出 合 計	8,573,000	6,406,487	8,573,000
次 年 度 繰 越	5,242,828	7,412,384	4,050,384

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
	金額		金額
現 金	51,917	新 規 事 業 引 当 金	1,770,977
東 京 三 菱 普 通 口	1,978,749		
郵 便 貯 金 口	7,079,745	(正味資産の部)	
備 品	72,950	余 剰 金	7,412,384
合 計	9,183,361	合 計	9,183,361

損益計算書

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

収入の部			
	23年度予算	23年度決算	内 訳
前年度より繰越	8,604,828	8,604,828	
入 会 金	1,800,000	1,410,000	55期 15,000円×94名分
運 営 費	1,100,000	1,192,000	2,000円×596名分
総 会 収 入	800,000	504,000	8,000円×48名 ご祝儀120,000円
預 金 利 息	1,000	79,874	預貯金利子 ゆうちょ定期満期
そ の 他 収 入	10,000	18,500	講習会参加費、名簿売上金
寄 付 金	500,000	957,000	329名より
講 習 会 費	0	60,000	伊豆研修 宿泊者分
新規事業引当金戻入益	1,000,000	992,669	引当金の為の経理処理
収 入 合 計	13,815,828	13,818,871	
支出の部			
	23年度予算	23年度決算	内 訳
総 会 費	1,500,000	1,190,140	茗溪会館会場費、講師謝金
講 習 会 費	1,000,000	828,857	実技研修会、母校、伊豆
会 報 発 行 費	1,500,000	1,181,392	会報第33号
通 信 費	500,000	397,707	小石川郵便局 他 郵送料、ハガキ代
印 刷 費	100,000	0	
渉 外 費	500,000	166,630	指圧協会、母校 祝い金等
交 通 費	300,000	247,980	運営委員会交通費 他
慶 弔 費	100,000	35,882	指聖供養塔生花 香典 弔電等
事 務 用 品 費	30,000	17,822	今井文具店 ファイル他事務用品
雑 費	50,000	25,145	委員会お茶代 両替手数料等
情 報 管 理 費	300,000	210,363	名簿データCD作成 データ入力
消 耗 備 品 費	50,000	4,190	SDカード購入
役 員 会 議 費	50,000	49,222	役員会、研修会 会場費、お茶代
設 備 使 用 料	50,000	36,000	母校へコピー機、電話使用料として
予 備 費	150,000	0	
新 規 事 業 費	1,000,000	992,669	旭出版へ名簿発行費支払い
減 価 償 却 費	93,000	92,488	ノートパソコン・ビデオカメラの償却
新規事業引当金繰入	800,000	800,000	
事 務 活 動 費	500,000	130,000	講習会スタッフ手当
支 出 合 計	8,573,000	6,406,487	
次 年 度 繰 越	5,242,828	7,412,384	

平成24年3月31日
日本指圧専門学校同窓会
会 長 川 原 善 次 郎 印
会 計 高 橋 雄 輔 印
監 査 岩 本 健 一 印